



「VLED 第3回 利活用・普及委員会」

水戸市のオープンデータへの取組みと 今後の展望

水戸市 市長公室 情報政策課

本日の説明について

- 1 水戸市のオープンデータへの取組み
- 2 水戸からのチャレンジ
- 3 今後の展望

1 水戸市のオープンデータへの 取組み

あたりまえですけど・・・

ICT政策を自治体が推進する目的は？

ICTを活用して地域課題を解決すること

オープンデータで地域課題解決

水戸市第6次総合計画の
重点プロジェクトに活用できないか

この2つをターゲットに

○都市力を高めていくため、そして、「魁のまち・水戸」を実現していくため、優先的かつ集中的に
四つの重点プロジェクトを推進する

Project 1 ～将来の水戸を担う子どもたちを育む～ 未来への投資プロジェクト	Project 2 ～安全・安心を実感できる～ 災害に強いまちづくりプロジェクト
Project 3 ～水戸の自然、歴史、文化の魅力を生かした～ 観光集客力アッププロジェクト	Project 4 ～人が集い、地域経済の活性化をリードする～ まちなかにぎわい・活力創造プロジェクト

～水戸の自然、歴史、文化の魅力を生かした～ 観光集客力アッププロジェクト

【こんなことに利用できないか】

既存の観光資源（偕楽園，弘道館，
千波湖等）の魅力アップ，
水戸芸術館を中心とした
文化の拠点づくり，観光PRなど



～人が集い、地域経済の活性化をリードする～ まちなかにぎわい・活力創造プロジェクト

【こんなことに利用できないか】

商業施設等の新たな誘致，
中心市街地の活性化，
起業支援，
まちなか居住の促進など



まず始めた取り組み データ公開の基盤づくり

「水戸市オープンデータライブラリ」の開設



The screenshot shows the Mito City Official Site with the following elements:

- Header: Mito City Logo, "水戸市 Mito City Official Site", and navigation links for text size, colors, and search.
- Menu: 暮らし・手続き, 健康と福祉, 文化・教育・スポーツ, 観光, まちづくり, 産業・しごと, 市政.
- Breadcrumbs: ホーム > 水戸市オープンデータライブラリ
- Main Content:
 - Section: 水戸市オープンデータライブラリ
 - Text: 水戸市はオープンデータライブラリを開設しました
 - Text: 水戸市では、オープンデータの取り組みとしまして、二次利用を可能とするデータをまとめた「水戸市オープンデータライブラリ」を開設しました。
 - Text: 今後、個人情報といった公開ができない情報を除き、市民の皆さんやNPO、民間企業等が自由に加工、編集等の利用を行っていただけるよう二次利用が可能なデータ形式で公開を進める取り組みを推進します。また、公開できる情報もさらに充実させてまいります。
 - Section: オープンデータを利用するにあたって
 - Text: このライブラリに掲載している内容につきましては、[クリエイティブコモンズ表示2.1日本ライセンス](#) (新しいウィンドウで開きます) の下に提供されています。
 - Image: Creative Commons Attribution (CC BY) license logo.
 - Text: また、ご利用にあたって、水戸市オープンデータライブラリに掲載しているデータをご利用いただくことで、本利
 - Text: [水戸市オープンデータ利用規約](#) (平成27年1月)
- Right Sidebar: 「暮らし・手続き」の他の分類
 - 暮らし・手続き
 - 健康と福祉
 - 文化・教育・スポーツ
 - 観光
 - まちづくり
 - 産業・しごと
 - 市政
 - 申請書ダウンロード
 - 水戸市について
 - 水戸市民ガイドブック
 - よくある質問 (Q&A)

全国でも、データライブラリが続々
現在 160以上の自治体で開設
でも活用状況は・・・？

地域課題解決のために必要なデータは何か？

そもそも、データを活用すると何ができるの？
水戸市はどんなデータを持っているの？
いつも問合せしている情報、最初からオープンにして！

観光集客力アッププロジェクト



まちなかにぎわい・活力創造プロジェクト



2 水戸からのチャレンジ

課題も踏まえつつ、更なる取組みを進めます！

自治体だけでは進みません！

産学官民連携

- IT企業＋地元企業
- 地域の金融機関
- 大学 市民の方々 との連携

シビックテック

- Civic Tech (シビックテック)
- 市民の力＋ICT技術で、まちの課題解決
に取組むこと

○ ウィキペディアタウン水戸 @偕楽園 の開催

第二回は「弘道館」も実施しました！

市民が自らデータを創る。すなわち、観光情報を提供する。

市民参加でウィキペディアを作成し、自らが情報を発信する体験を行いました。



歴史アドバイザーの方と偕楽園の現地調査を行いました。
その後、図書館で文献調査を行い、ウィキペディアの執筆しました。

シビックテック

水戸でもシビックテックが始まっています

○ インターナショナルオープンデータデイ2015in茨城が開催

OpenTextMapを利用して、
水戸のガリバーマップ(水戸だ
いだらマップ)を作成しました。



コード・フォー・イバラキ、
伊能社中、
茨城大学の皆さま、
ありがとうございました！

インターナショナルオープンデー 2016

テーマは・・・ まだ未定です。

しかし、さまざま方々との連携に向けて動いています。

水戸商工会議所，水戸観光協会など

+

Code for Ibaraki

詳細は，Code for Ibarakiのサイトで今後公開予定！

産学官民連携

「水戸市オープンデータ利活用研究会」 を立ち上げます

産学官民協働により、データ活用に向けた可能性について考えて行きます。

(仮) 「ビジネスに有用なオープンデータの利活用研究」

～どのようなデータが企業やビジネスに、どのように役に立つのか～

○「こんなデータがあると、こんなことが出来る」などが研究する。

必要なオープンデータが見える。使えるオープンデータが見える。

○企業の事業にデータを活かすためのデータ活用を研究する。

サービス視点でのデータ活用を研究し、差別化・競争力を生み出す。

○オープンデータ利活用の動向把握

○参加者同士の相互交流と課題共有

水戸発のイノベーションを！

「水戸市オープンデータ利活用研究会」

○事例研究

Agoop様

大津商工会議所様

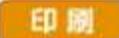
最先端の現場で御活躍の
講師をお迎えします！

○ RESES(リーサス)の利活用と、データ 分析の重要性

○ 「水戸」から発信するデータ活用事例の 創出

2 水戸からのチャレンジ

【開催しました】オープンデータ利活用セミナー～公共データのビジネス活用と地方創生を考える～

最終更新日：2015年12月14日 ページID：015819 

平成27年11月27日（金）「[オープンデータ利活用セミナー～公共データのビジネス活用と地方創生を考える～](#)」が水戸市国際交流センター 多目的ホール において開催されました。

当日は、筑波大学システム情報系社会工学域 川島 宏一 教授の基調講演のほか、オープンデータの活用事例をご紹介いただきました。

水戸市では、今年度、「水戸市オープンデータ利活用研究会」を開催し、産学官ほか市民の皆様とオープンデータの利活用について考えてまいります。

引き続きホームページ等で取組内容をご紹介してまいります。



水戸市長あいさつ



会場の様子（50名ほどの皆様にご来場いただきました。）

「水戸市オープンデータ利活用研究会」

- ・ **参加費は無料**
【会場までの交通費は御負担ください。】
- ・ **水戸からのイノベーションに御興味のある方なら市内居住，企業の所在地は問いません。**
(ノウハウを地元を持ち帰っていただいても可)
(今後，水戸市とのコラボレーションによる取組も歓迎)

水戸市オープンデータ利活用研究会 ～地域経済の活性化に向けてデータをどのように活用するか～

ご案内

当研究会では、データ活用に先進的に取り組んでいる団体や自治体などの事例を通じて、事業者や水戸市が所有する様々なデータを地域のビジネスに役立てるため、データ活用の局面や可能性及び活用の観点について、有識者を交え産官学民の協働で研究します。

研究内容

- ・事例から見える有益なデータ活用の研究
- ・利用者に有効なデータの3層モデルの研究
- ・データを活用した解析と課題解決のプロセスの研究
- ・オープンデータ利活用の動向把握
- ・参加者同士の相互交流

対象者

オープンデータを含めたデータ活用に関心がある方やイノベーションに興味がある方
一般市民の方、企業の方、自治体職員、学生等、市内外お住まいを問わずご参加ください。

日時・場所

日時	第一回	1月21日(木)	14時	～	16時30分(開催しました)
	第二回	2月24日(水)	14時	～	16時30分

参加費

無料

研究会の進め方

- ・データ活用に先進的に取り組んでいる団体や自治体の事例をもとに、データ活用の局面やデータの種類などについて研究する予定です。
- ・有識者からデータ活用の観点について情報提供していただく予定です。
- ・データを活用するときの観点やポイント、ビジネス局面やサービス場面について参加者の方と検討する予定です。

有識者

第一回 瀬戸 寿一様 東京大学 空間情報科学研究センター 特任助教

第二回 後藤 玲子様 茨城大学 人文学部 教授
関口 昌幸様 横浜市政策局政策部政策課担当係長

内閣官房様からの登壇者についても打診中

スケジュール

第一回 1月 21日(木) 14:00~16:30				
挨拶・紹介	事例「MY CITY FORECASTの紹介とデモ」 ～将来の居住地域の環境を可視化～ 東京大学 空間情報科学研究センター 特任助教 瀬戸 寿一様 東京大学大学院修士課程二年 長谷川 瑠子様	情報提供 「事例とデータ3層モデル」 ～地盤安心マップ、 Spaada(マイクロ分析)、 流動人口データ	休憩 MCF 操作 体験	ディスカッション (質疑含む)
第二回 2月 24日(水) 14:00~16:30				
挨拶・紹介	基調講演 「ビジネス展開に向けたポイントや 政府の取組(仮)」 内閣官房様(調整中)	事例紹介 「横浜市での金融機関と 民間企業との連携による取組事例」 スピーカ 横浜市政策局制作部政策課 担当係長 関口 昌幸様	コメンテータ 茨城大学 教授 後藤玲子様	ディスカッション (質疑含む) データ活用への 示唆

○ お申し込みはこちらから(前日までにお申し込みください。先着順です。)

インターネットで

http://s-kantan.com/city-mito-ibaraki-u/offer/offerList_detail.action?tempSeq=3050

ファックスで

水戸市役所 情報政策課あて Fax:029-252-7723

「研究会第1回参加」と明記のうえ、氏名・所属・連絡先(電話番号等)を御記入ください。

主催・連絡先

水戸市 市長公室 情報政策課 Tel:029-252-7781

3 今後の展望

具体的な事例を，水戸から発信しよう！

3 今後の展望

地方創生

まち・ひと・しごと創生総合戦略(平成26年12月27日閣議決定)

基本目標1 地方における安定した雇用を創出する。

基本目標2 地方への新しい人の流れをつくる。

基本目標3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる。

基本目標4 時代に合った地域をつくり, 安心な暮らしを守るとともに, 地域と地域を連携する。

水戸市まち・ひと・しごと創生総合戦略
(素案)

2015(平成27)年11月
市長公室 政策企画課

地域の金融機関の関与

水戸市と地域金融機関の現状

水戸市	地域の金融機関
<p>○「地方創生」の取組の推進 まち：地域の特性に応じて課題の解決 ひと：雇用の質・料の確保，向上 しごと：有用な人材確保・育成，結婚， 出産，子育てへの切目ない支援</p>	<p>○地方金融機関の地方創生への関与 ○地域密着型金融 （リレーションシップバンキング） ○「営業地域の深耕」 （事業再生，事業承継，コンサルティング業務，ビジネスマッチング） ○環境，エネルギー，介護，医療等への成長分野への積極対応</p>

金融機関との新たな枠組創出を目指します

枠組の目的

- 1 自治体データの活用についての調査・研究
民間企業が必要としているデータはどのようなものか調査・研究を行う。
- 2 データの分析能力の向上
水戸市及び金融機関におけるデータ分析能力の向上を図る。
- 3 地方創生に向けたデータ活用への支援
自治体を持つデータを、必要なものから全庁一丸になって公開する。
地方創生に向け利活用しやすいデータ活用環境を構築する。
- 4 データ活用による事業の地域での展開
新規ベンチャーとビジネスとのマッチングの場を提供する。
データを活用したビジネス創出事例を発信する。

ぜひ御意見等をお寄せください！

水戸市市長公室情報政策課

029-252-7781

Mail:sys@city.mito.lg.jp